



オープンと同時に、大勢の人が訪れ、日本一のばら園を楽しみました。



先着 500 名に、ばらの苗がプレゼントされました。



元気いっぱい！に 8 人の園児が開園宣言！

4月25日、かのやばら園がグランドオープンし、新しく完成した『ばらの館』前のエントランス広場で開園式が行われました。

式は、大隅肝属消防音楽隊のオープニング演奏でスタート。次に地元の南部幼稚園、野里保育園、高須保育園、和光保育園の園児8人が、「僕たち、私たちのまちに、日本一の、かのやばら園がオープンします」と元気いっぱいに開園宣言。そして、山下市長が「総事業費の約7割を市民の皆様にご協力いただいたミニ公募債（プリンセスかのや債）を活用させていただき、名実ともに日本一を誇れるばら園として拡充整備しました。このばら園へ全国から多くの方にお越しいただき、新生鹿屋市の活性化の起爆剤にしたい」とあいさつ。さらに、ばらの苗11種110株を寄贈した関東鹿屋会と、車椅子10台を寄贈した池田病院に感謝状が贈られた後、テープカットを行い、300個の風船を飛ばして開園を祝いました。

園内のばらは冷え込みが続いたこともあり、まだ二分咲き程度でしたが、式典終了後は、オープンを待ちかねた大勢の人が入園。記念写真を撮ったり、園内をゆっくり散策するなど、新しくなった『かのやばら園』を思い思いに楽しんでいました。

グランドオープンした『かのやばら園』は、面積が8haで日本一。品種4,000種類、株数50,000株も園内2番目の規模となります。カフェ食堂や、売店などがある『ばらの館』や、一年中ばらの花の観賞や切り花体験ができる「温室」、様々なイベントを開催できる「ガーデンステージ」など、これまでのばら園に無かった施設も整っています。

また、かのやばら園ではグランドオープンした4月25日から6月4日までの41日間には、かのやばら祭り2006を開催（イベントスケジュールについては、4月号に掲載）。ゴールデンウィーク最初の休日となった4月29日は、鹿屋市出身の哀川翔さんのトークショーなど、様々なイベントが開催され、多くの人出でにぎわいました。なお、この『かのやばら祭り2006』で実施された各イベントについては6月号で紹介しします。



癒しと感動のステージ

かのやばら園 グランドオープン

『かのやばら園』が、年間を通して楽しめるばら園としてグランドオープンしました。

生まれ変わった『かのやばら園』は、これまでの約3倍の規模。面積では日本一広いばら園となります。100万本のばらが出迎える『かのやばら園』で、ばらの魅力を心ゆくまで堪能してください。